



Search. Observe. Protect.

Elastic企業管理・ 倫理規範

elastic.co/jp

CEOのメッセージ

Elasticの社員は皆、さまざまな組織、その従業員や顧客にとって重要な成果を促進するという同じミッションを共有しています。検索のパワーを活かすソリューション群を活用することで、誰もが必要とするものをより速く発見できるようになります。

私たちは、検索ユビキタスのパワーをすべての人が信頼し、アクセスできるようにする永続的な組織を構築するというユニークな機会を手にかけています。この未来を実現し、責任をもって成長するためには、私たちのソースコードを指針とし、常に誠実さ、プロ意識、共感、透明性をもって行動することが求められます。私たちのソースコードは成功の基盤です。

Elastic企業管理・倫理規範は、私たちのソースコード全体に含まれる価値をサポートし、ユーザーコミュニティ、顧客、パートナー、株主、Elasticの仲間と関わる際の指針となるように設計されています。私たち一人ひとりがこの企業管理・倫理規範を理解し、日々これを守る責任を負います。これによって、会社の価値観の実現に対する私たちの継続的なコミットメントが証明され、すべての関係者から信頼を得られます。

今では、どんな行動規範であっても、起こり得るすべての状況を網羅することはできません。またそれができだろうと考えるべきではありません。Elasticは社員に対し、Elastic社の価値観と倫理観に矛盾することのない決断を下すための自由裁量を委ねます。企業管理・倫理規範を指針にすることは、Elasticに対する懸念を目にしたら声を上げ、わからないことは質問する必要があることを意味します。この企業管理・倫理規範の原則を守って声を上げた人に対する報復行為をElasticが一切許容しないことを、皆さんに固く約束します。

皆さんとElasticの価値観に対するコミットメントを共有できることに感謝いたします！

Ash



Elasticの企業管理・倫理規範へようこそ

Elasticは、すべての社員（Elasticの取締役、役員、および従業員を含む）に対して、それぞれが正直に、倫理的に、また法律とElasticのポリシーにより義務付けられた規範を遵守しながら行動できるように考案された行動基準を提供するために、この企業管理・倫理規範を導入しています。ぜひ、この規範に精通してください。Elasticに所属する中で倫理的または法的ジレンマに直面した場合、この規範はそのような問題を解決するために役立つ重要なツールとなります。

この規範は遭遇し得るすべての状況を網羅することはできないため、進め方が不明な場合は ethics@elastic.co までご連絡ください。Elasticは社員を大切にしています。正しい方向へ進み、正しい判断へ導くための手助けをする機会を歓迎します。Elasticのすべての人がこの規範を理解し、常にその規定に忠実であることを、実質ともに求めます。これが守られない場合は、懲戒処分（停職またはElasticから離脱することなど）に繋がる可能性もあります。このような状況に陥らないようにしてください！

この規範の違反があった、または違反している、と確信する理由があるときは、ただちにその懸念を報告しなければなりません（この規範の最終ページにある「倫理・コンプライアンス上の懸念事項の報告」を参照してください）。前ページにあるアッシュのメッセージをご覧ください。誠意のある違反の報告を行った者に対する報復は容赦しない、という彼の個人的な約束があることを忘れないでください。

Elasticの文化と価値観

この規範はElasticの文化と価値観を反映しています。

Elasticは分散型企业です。 Elasticは早い段階でオープンソースプロジェクトに取り組んでいたため、卓越したソフトウェアや優れたアイディアは世界中のどこでも、誰によってでも生み出されることを理解していました。それゆえElasticは分散型企业として生まれ、デザインによって分散型を維持してきたのです。このことは、Elasticのグローバルなソフトウェア、システム、および全従業員が分散型の方法で操作・稼働するために配置されていることを意味しています。Elasticの社員の大半は在宅で勤務しているだけでなく、その全員がElasticのような分散型企业を成功させる手段と考え方を持ち合わせています。

Elasticは多様性を尊重します。 分散型企业である本当の意義は、多様性ならではの強みを活かすことにあります。人々に関して言えば、それはとても大きなものです。Elasticは地理的なことが機会を左右するものだとは考えていません。また、言葉の壁や文化的隔たりによって諦めることはしません。誰もが皆、訛りがあります。そのことを讃えましょう。ありのままの自分でいいのです。いろいろな人がいると、問題へのアプローチや解決方法にも違いがあります。それこそがElasticの必要とすることなのです。Elasticは新しく加わるすべての社員に対し、Elasticをより一層良い企業にしてもらいたいと思っています。また、Elasticは社員の貢献に十分報いたいと考えています。

多様性の受け入れは、Elasticにとってこの上なく重要なことです。 Elasticが目指すものは、単に協力して仕事をする野心家たちが集まる企業を作ることではなく、共に創出し、共に想像し、文化の多様性を楽しむ企業を作ることであり、そうすることで誰がどこにしようと繋がりを感ずることができるのです。Elasticは、ものごとが行き詰ったときには支援を受けることができ、現状を打破し、他人とは異なる考え方をする権利が与えられていることをElasticの一人ひとりに感じてもらいたいと思っており、その過程を少しでも楽しんでもらいたいと思っています。

開放性はElasticのDNAです。 オープンソースからオープンコードまで、開放性はElasticにおいてDNAとなるものです。Elasticはその開放性を活用します。Elasticが書き込むコードの視点からだけでなく、Elasticの顧客との関わりにおける過程においてもです。こうしたコミュニケーションの文化があるからこそ、Elasticがオープンソースへの傾倒を維持することができるのです。これらが無ければ、ElasticはElasticであることができません。

Elastic文化のプリズムを通してこの規範を読んでみてください。そしてElasticの核心部である品位とプロ意識、共感に矛盾することのない行動を常にするよう、心掛けてください。



行動基準

1. 敬意、多様性、公平性、一体性、および無差別

Elasticでは、敬意、多様性、公平性、および一体性を啓発することは目的地ではなく、進化を続ける旅となるものです。日々、他人に対しては敬意と品位をもって接し、どんな理由があろうと他人に対する差別を許さず、誰もが快適で一体感をもって過ごせるようにしてください。そのために、以下のことをしてください：

- ありのままの自分で来てください。ただしElasticの仲間と自身と関わるすべての人に対して、常に敬意を表してください。彼らを動かしているものは何なのか、それを理解する努力を真剣にしてください。そして侮辱的な、無神経な、または攻撃的な発言をすることなど、あらゆる類のハラスメント行為を一切行ってはいけません。
- 悪意のせいには決していきません。相手の立場になって考えるようにしてください。Elasticには多くの言語、見解、および文化が共存するため、翻訳においては見落としが生じやすくなります。
- 開放的に、そして正直になってください。けれどもそれと同時に思いやりをもって礼儀正しく接してください。Elasticの社員の大半は在宅勤務ではありますが、それは脅威や脅迫なしに互いに協働するという義務から開放されるということではありません。
- 他のElasticの社員とElastic製品のユーザーに対しては共感をもって接してください。

2. 法律と規則の遵守

Elasticは世界中で事業を展開しており、運営している場所を問わず法律と規則に従っています。Elasticの従業員として、コンプライアンスに準拠した方法で業務を遂行するためには、適用される法律を十分に熟知してください。Elasticの社員が現地法とその原則、およびこの規範の価値観との間の潜在的な不一致に気づいたときは（Elasticが予想し得るものは極めてまれであるが）、倫理・コンプライアンス最高責任者とかかる懸念事項について話し合ってください。

Elasticで働く中で遭遇する可能性の高い法律について学べるように、トレーニングプログラムを導入しています。進んで活用してください!あなたが正しい判断と良識をもって行動してくれることを期待していますが、このトレーニングでは基本的な法的ルールとElasticの社内ポリシーについての実知識を学ぶことになります。そしてその実知識を応用することで、Elastic社の弁護士またはコンプライアンスの専門家と話し合いを行う際に話題の焦点を絞ることができるようになります。要は、トラブルに巻き込まれないためにはトレーニングに真剣に取り組むことが重要になります。

3. 利益相反

Elasticは社員に対し、Elasticの事業利益に抵触するような活動はしないことを想定しています。この単純な原則を適用するのは常に容易なわけではありませんが、利益が重なった場合は、自身、家族、友人、またはその他第三者にとっての最良の行いではなく、常にElasticにとって最良の行いを選ぶことが最善の指標となります。

以下は、潜在的な利益相反の事例です：

- 家族または友人に雇用や事業の契約を提供する。
- この規範およびElasticのポリシーが定める適切な範囲を超えて、Elasticの競業者、サプライヤー、顧客、またはチャンネルパートナーから贈答品もしくは歓待を受ける。
- Elasticの所有権または設備を外部の業務に向けて使用すること、またはElasticの利益もしくはElasticでの自身の仕事に抵触する可能性のある外部の業務を引き受ける。
- Elasticの競業者、サプライヤー、顧客、またはチャンネルパートナーの従業員、請負業者、アドバイザー、または取締役員として仕える。
- Elasticでの就業中に見つけたビジネスチャンス（Elasticがそれらの実行に興味があることを承知した上で）から個人的に利益を得る
- Elasticの競業者、サプライヤー、顧客、またはチャンネルパートナーに対して、自身のポートフォリオ全体に対して重要な影響がある額の投資を行う（このような企業に関して、Elasticの意思決定または経営方針に影響を及ぼす能力を保持する場合）。

これらは実際のまたは感知された利益相反が存在する状況におけるほんの数例に過ぎません。この規範もしくはElasticの他のポリシーに対する違反を回避するため、上記の状況においての進め方に少しでも疑念がある場合は、直属の上司またはElasticの倫理・コンプライアンス最高責任者に報告をしてください。

4. 外部の業務およびElastic資産の使用

Elasticにとって最も重要な唯一の資産は、Elasticの成功に向けてスキルと才能を捧げてくれるElasticの社員によるコミュニティです。Elasticの未来は社員のElasticに対する献身にかかっています。Elasticは社員の従事時間、才能、およびエネルギーなしに成功することはできません。ElasticはすべてのElasticの社員からこの献身を望んでいます。また、仕事以外でも自分の情熱と関心をもってほしいと思う一方、それらの活動には仕事への支障が出ないような方法で参加するよう、お願いします。

Elasticの社員は皆、Elasticの資産の取扱いに注意しながら使用しなければなりません。Elasticの所有権には、物的資産（Elasticの一事務所で仕事をするときはコンピューターや他の機器、施設、および供給品など）、電子メールならびに他のコミュニケーションプラットフォーム、電子掲示板、およびストレージなどが含まれますが、これらに限りません。知的財産権はもう1つの鍵となる資産で、これにはElasticの特許権、著作権、商標権、発明、技術、および営業秘密を含みます。Elasticの秘密情報（事業記録および他の専有もしくは非公開情報など）もまた貴重な資産です。

Elasticは、Elasticの機器および情報をElasticの事業目的ではない用途で使用することは認めていませんが、限定された個人の目的においてElasticのコンピューターおよび関連するサービスを利用することはできます。ただし、それは偶発的で営業用用途に支障がない場合、かつ、この規範と他のElasticのポリシーの規定に違反していない場合に限られます。しかしながら、Elasticの資産を創出すること、アクセスすること、保管することあるいは違法な、攻撃的な、非常識な、またはその他不適切な資料を送信したりするために使用することは決して許容できるものではないことは言うまでもありません。

Elasticが提供するコンピューターもしくはサービスに含まれる情報に関して、プライバシーがあるとは思わないでください。なぜならElasticはいつでもそれらにアクセスすることができるからです（内部調査を行うこと等）。

5. インサイダー取引

Elasticの社員の大半はElasticの株主でもあります。これは、まだ公には明らかにされていない情報を知り得たり、それらにアクセスしたりできることを意味しています。大量にあるこれらの情報は、投資家たちが投資や取引の決定を行う際に最も重要視しているものと考えられます。このタイプの情報は、「重要非公開情報」と呼ばれます。

重要非公開情報の例は次のとおりです：

- 大きな契約の獲得状況に関する情報。
- 戦略における大幅な変更または重要な新プロジェクトの発表計画に関する情報。
- 企業の買収または子会社の売却もしくはその資産の重要部分の売却に関する計画情報。
- 四半期末決算データまたは年度末決算データについての情報
- Elasticに著しく影響を及ぼす訴訟または規制の進行についての情報。

Elasticの者は誰一人としてElasticの株を取引するために重要非公開情報を使用することは認められていません。また、この情報を知る権限を与えられている当該Elasticの社員以外の者に重要非公開情報を開示することもできません。

さらに、Elasticの顧客、ベンダー、または他のビジネスパートナーについての重要非公開情報を知っていても、情報が公知となるまで上記企業との株取引を行うことはできません。

そこで、次のことを忘れないでください。重要非公開情報を保有する一方で（Elasticに関する情報か、またはその顧客、ベンダーもしくはビジネスパートナーに関する情報かに関わらず）、Elasticの社員が株式取引をすること、誰かにその情報を開示すること、またはElasticもしくは他社の株式を売買するのには適時かもしれないと他人に提案することさえも、禁止されています！この忠告を無視することは、大抵の場合、この規範およびElasticのインサイダー取引ポリシーへの違反となるだけでなく、違法行為にもなります。

必ず、「インサイダー取引ポリシー」のすべての項目に目を通してください。疑問がある場合は、取引や情報の共有を行う前に、社内弁護士に相談してください。社内弁護士が不在の場合は、財務最高責任者に相談してください。

6. Elastic製品の輸出入

輸出入に関する法律は、Elasticの技術を限定された国、機関、企業および個人に対して輸出、再輸出、および輸入することについて規制（場合によっては禁止）しています。米国とその他多くの国では、非友好的で危険であるとみなされる一定の国、機関、企業および個人に対する貿易に関して厳しい取り締まりを維持しています。

これらの法規制は大変詳細かつ複雑ですが、Elasticの全従業員が把握する必要があるものです：

- Elasticはキューバ、イラン、シリア、北朝鮮、またはウクライナのクリミア地区に対しては、倫理・コンプライアンス最高責任者または輸出管理責任者からの承認が無ければ事業を行うことはできません。
- Elasticは諸外国の認可外ボイコットに一切参加しません。
- 輸出には、物理的に国境を越えた物品に限らず、ある国から別の国へ提供されるソフトウェアのダウンロードまたはサービスも含んでいます。
- 米国にいる外国人に向けられた技術情報を含む口頭でのプレゼンテーションは、米国の技術の移転として見られ、輸出規制の対象となる可能性があります。
- Elastic製品は一般的に暗号化を使用または含んでおり、これについての輸出ライセンスまたは他の種類の認可の必要性については追加レベルの分析が必要になります。
- Elasticはまた、Elasticのディストリビューターおよびエンドカスタマーに対してもこれらの規制を遵守してもらうよう、要求しています。

輸出入の規制は、国際的な販売取引にのみ影響を及ぼすだけではなく、製品の開発、ウェブの設定、資金管理、カスタマーサポートなどにも影響を与えます。これらの活動に従事するすべてのElasticの社員が上記の規則に対して実用的な知識を持ち、Elasticの[国際貿易ポリシー](#)に精通し、疑問がある場合はElasticの法務部に連絡してください。

7. 反汚職と贈収賄

国際取引を規制する法律が大変複雑である一方、反汚職と贈収賄に適用される規則は一文で要約することができます：あらゆる事業を不適切に取得または保持したり、官僚から有利な事業もしくは他の決定を確保したりするために、誰かに対し金目の物を提供したり受け取ったりしてはいけません。

また、あらゆる誤解を回避するために、以下に用語集を確認してください：

- 「金目の物」とは、金銭だけではなく、一般人が金銭的価値のあるものとみなすであろうものを意味します。
- 「誰か」とは、文字通り、いずれの人物で、官僚であるかそうでないかは問いません。
- 「不適切に」とは、不純な動機で、また法的根拠がないことを意味します。たとえば、簡易ビザ申請の手続きについて述べるのであれば、このサービスが一般的に利用可能なものでその料金も公示されており、支払いに透明性があり、正式な領収書が確認されるのであれば、追加料金を払うことはまったく問題ありません。しかしながら、追加の支払いが同料金で同じサービスにおいて申し込まれ支払われた場合に、その金員が直接、政府の職員のポケットに入ったのであれば、それは違法となります。
- 「官僚」とは、あらゆる政府を代表して活動している人のことを言います。これは直観的に理解できるようにも見えますが、一部の法律では、官僚には王室のメンバー、公職の立候補者、政党の委員、政府が所有または支配権を持つ企業の従業員が含まれることがあり、公営もしくは公設の国際組織の従業員が含まれることさえあります。さらに、特定贈収賄防止法においては、これらの人物の配偶者および肉親もまた、官僚として扱われます。

要は、不純な動機や下心に動かされ、事業の利点を得るためになんらかの支払いを受けたり金目の物を提供したりすることは、この規範の下では賄賂となり、大抵の国においても犯罪法に基づき賄賂になり得るのです。これは、たとえ第三者（チャンネルパートナー等）がElasticの社員の依頼により、もしくは承認または黙認の上で支払ったとしても、賄賂となることは確かです。

賄賂の支払いまたは提供に加えて、賄賂とみなされるであろう何かを求めたり受け取ったりすることも禁止されています。

Elasticが事業を行っているあらゆる地域の現地の慣行に関係なく、この賄賂における禁止事項の例外はありません。たとえ他人が不正な行いに手を染めている（またはその疑いがある）としても、ElasticとすべてのElasticの社員は、世界中どこにでもあるこの行動基準の精神と文言の両方を遵守しなければなりません。仕事を得るために賄賂を払うことは正当化されていると考えるのであれば、それはとんでもない間違いであり、あなた自身とElasticにとてつもない痛手を与えることになるでしょう。正々堂々と勝ち取れない仕事は必要ありません！賄賂とみなされるような行いに気づいたら、直ちに報告してください。

8. 贈答品と歓待

贈答品を送ることおよび歓待への支払いは、それらが不純な動機または下心による行いである場合、Elasticに対して不正利益をもたらすといった理由で賄賂とみなされることがあります。一方で以下の場合など、現存のビジネスパートナーに対して謝意を表すため、または友好的な取引関係を確立するために施されるビジネス作法の範囲のものは許容されます。

- Elasticの贈収賄防止および[贈答品・歓待ポリシー](#)における上限を超えていないこと、または上記の行いが書面にて承認される場合は、Elasticの[贈収賄防止および贈答品・歓待ポリシー](#)の承認規定に一致していること。
- ビジネス慣習に一致していること。
- 状況、受領者との取引関係の本質、および受領者の組織における役割と地位を鑑みて妥当であること。
- 受領者が見返りとして何か不適切なこと（贈答品や歓待のやり取りをすることで取引を優位にするようなこと）をしなければならないと思うような、受領者の客観性もしくは立場に影響を与えないこと。
- 現金ではないこと
- 受領者の社内ポリシーに対して矛盾がないことを必ず確認する！

要は、Elasticの記念品を送ることや祝賀会を主催すること、地元のコンサートやスポーツイベントに休日のギフトバスケットやチケットを贈ることは、これらが上記の基準に沿っている限り、すべて許容される可能性があります。

同様の基準はElasticの社員が贈答品または歓待を受領する場合にも適用されますが、それと同時に家族および友人にも適用されます。Elasticの社員の家族や友人がElasticの社員の関係者であるがゆえ、その関係をきっかけに贈答品の授受を行う場合は、該当します。

最後になりますが、贈答品や歓待は決して要求しないでください！

9. 公的機関のクライアントとの業務

Elasticのクライアントは、公的機関の団体が多くの数を占めています。この業務に関わっている場合、公的機関のクライアントに対する特別入札、値付け、開示、および認証規則について精通してください。なぜなら、これは事業法人顧客との取引では適切であるとされる行為が、政府機関との取引になるとElastic社員やElasticにとって法的問題に発展する可能性があるからです。たとえば、政府の調達規定において、事業法人顧客や見込み客にとって妥当な贈答品や歓待を公務員から受け取ることを厳しく制限また禁止をしている場合があります。これは数ある特則のうちのほんの1つです。したがって特定の公的機関の要件を理解すること、ならびに進め方が不明な場合は必ずElasticの法務部に連絡をすることを忘れないでください。

10. 記録管理

Elasticの全社員は、任務の1つとしてElasticの事業記録が正確で詳細に管理されていることを保証しなければなりません。株式公開企業であるElasticに適用される法律、規則、および会計基準を遵守するためにだけに限らず、誠実な財務記録に基づいて事業の決断をすることにも必要なのです。取引の実態を反映させるために、必ず取引の記録を残してください。また、誤解されやすい言葉の使用は避けてください。さらに、自分の知識が事実と即していないものの登録は、一切行わないでください。これは、大手企業との取引において重要であるのと同様に、少額の旅費精算依頼でも重要なことです。詐欺行為は詐欺行為、Elasticはどんなレベルにおいてもこれを許すことはしません！

誠実で詳細な記録を残すことで、他社による贈収賄、脱税、または資金洗浄を目的としたElasticの利用することを防ぐことができます。実際の行為を隠した、または実際の支出、収益、資産を隠蔽している取引に参加したり登録したりしないでください。

11. 独占禁止法と競業

Elasticは正々堂々と競います。それゆえ、Elasticの社員は以下に見られるElasticの競業他社とのディスカッションまたは取り決めを行ってはいけません：

- 価格の固定または統制（Elasticのエンドカスタマーに請求する価格について、Elasticのチャンネルパートナーに同意することを含む）。
- 選ばれた入札者の勝機を認める方法での入札に同意すること。
- 特定のベンダーや顧客を拒否すること
- ElasticとElasticの競業他社との間で製品、販売地域、市場を割り振ること。

これらは競争制限に対して違法となる行為の数例にすぎません。また、違法とされる取り決めは正式な書面による契約書になっている必要はありません。これらの内容における非公式の理解、ディスカッション、または情報交換でさえ、犯罪とみなされる可能性があります。想像してみてください。業界団体会議や展示会での日常会話は競合を減らすための探り入れとして解釈することも可能です！したがって、反競争的な内容として解釈されそうな話題に話が逸れてきたと感じるのであれば、そのような会話には参加せず、その場を立ち去ってください。

独占禁止法の問題は比較的容易ではありますが、特定の状況に適用されるときはかなり複雑になってきます。疑わしい状況が発生したときには、直ちにElasticの法務部に連絡をして助言や援助を求めてください。

12. 誠実な行動と公正な取引

Elasticは、誠意のある競合と合法的なマーケティング活動を通してElasticの売り上げを伸ばしていくことだけを望んでいます。これは、Elasticの誰もがElasticの製品、サービスもしくはビジネス慣行について、誤解を招くような説明を他者に対して意図的に行わない、ということの意味します。Elasticは、どんな公共のコミュニケーションの場においても、虚偽や隠蔽を望みません。

Elasticの社員は、Elasticの事業で利用できるような情報を取得するために、詐欺的なもの、改ざんされたもの、虚偽表示のものは採用しません。競合情報を収集する際は、不公平もしくは疑わしいと思われるような方法では行わないでください。受け取るべきではない情報を誰かが誤送した場合には（自分以外の者に宛てて送られたメール等）、その情報を利用する権利は無いため、かかる情報を直ちに破棄し、送信者にその旨を知らせてください。

13. 機密性

秘密情報とは、一般には公知となっていないElasticまたはその顧客もしくはビジネスパートナーに関するあらゆる情報のことを言います。秘密情報の例には、以下のことを含みます：

- 財務データと予測。
- 営業秘密、特許申請、発明、製品企画、ならびに顧客リスト。
- 事業戦略、企業買収計画、または他の企業の結合、売却、大口契約、拡販計画、金融取引、および経営陣の変更。
- 従業員の個人情報
- 顧客、ビジネスパートナー、および他者に関する非公開情報。

Elasticに所属する者は皆、秘密情報を保護しなければなりません。これは、第三者には開示せず、当該情報を知る必要のあるElasticの同僚たちに対してのみ共有するということです。Elasticのビジネスパートナーに対してElasticの秘密情報を送信する前に、書面による開示禁止契約書またはかかるビジネスパートナーとの間で同様の契約上守秘義務を伴う他の契約書があることを確認してください。

秘密情報を開示する前に、常に正しい判断をしてください。インターネットでのディスカッショングループ、チャットルーム、掲示板、または他の電子媒体に参加するときには特に気を付けてください。Elasticから権限を委譲されない限り、Elasticの代表として発信しないでください。マスコミ取材を受ける場合は、その旨をPR-Team@elastic.coまで転送してください。

14. データの保護

Elasticは、Elasticの事業を効果的に運用するために必要な個人データ、または法律によって要求される個人データを収集し、保有しています。個人データとは、識別されたもしくは識別できる自然人（企業に関する情報とは対照的に、これは個人情報とはみなされない）に関するすべての情報のことです。これには、明白なデータ（名前やメールアドレス等）だけではなく、直接か間接かを問わずに自然人を言及する明白ではないデータ、すなわちユーザーID、IPアドレス（または他のオンライン識別子）、位置データ、あるいは自然人に対する具体的なその他の情報も含まれています。

自身の業務遂行のため、Elasticの顧客また同僚の個人データにアクセスする必要があるかもしれませんが、個人データの収集を伴う業務上の目的に関連している場合に、その業務を果たすために必要な個人データのみアクセスすることができることを忘れないで下さい。さらに、Elasticの同僚に自身の個人データを共有することができますが、個人データの収集を伴う業務上の目的に関連している場合に、その業務を果たすためにかかるデータにアクセスする必要のある者に限ります。業務上の目的に関係のない、または自身もしくは他人の利益に関する個人データを利用したり開示したりしないでください。また、個人データを利用、開示するときは、Elasticのデータプライバシーポリシーと手順を遵守してください。

15. 情報セキュリティ

Elasticに所属する者は皆、企業の情報の安全とセキュリティを維持すること、またElasticのビジネスパートナーがElasticに委ねた情報について共同で責任を負います。また、Elasticには専門の情報セキュリティチームがありますが、ElasticのITシステムソースを維持するために、すべてのElasticの社員からの協力と献身を必要としています。情報セキュリティポリシーに精通し、Elasticが導入するセキュリティの手順すべてを遵守するようにしてください。特に、ログイン認証情報を確実に守ってください。そしてElasticのセキュリティポリシーと手順を完全に遵守していない方法でElasticのシステムにアクセスすることは絶対にしないでください。

16. 政治献金とロビー活動

Elasticは、直接か間接かを問わず、政党活動への参加または政党もしくは個人の政治家に対する支払いは行いません。会社の資金、従業員の労働時間、および会社の動産・不動産を含むElasticの資産は、すべての国で、どのような状況においても政治キャンペーンやその他の政治活動に使用したり、寄附したりすることはできません。Elasticは、多くのElasticの社員がコミュニティに携わり、積極的に社会生活や政治生活に参加することを認めています。それは素晴らしいことです！けれども、Elasticには多様な視点をいくらかでも表明できるElasticの社員がいますので、一個人として政治活動を行うのであり、Elasticの従業員もしくは代表として行うのではないということを覚えておいてください。

Elasticは、Elasticの企業利益に影響を与える事項およびElasticの活動に従事しているもしくはそれに影響を受けているElasticの株主、従業員および他の人たちについて、政府および他の人たちとElasticの見解を共有しています。この対話への参加を希望する際は、Elasticの法務部に連絡をしてください。Elasticがその連絡内容を承認する前にElasticを代表してどこかの政府またはその代表者に接触することは絶対にしないでください。

17. 公開開示のクオリティー

Elasticには、すべての重要な点において、Elasticの財政状況に関する公開開示および営業活動の結果において、完全で正確な情報を提供する責任があります。Elasticは、米国証券取引委員会および弊社の他の一般大衆向けに提出する報告書もしくは文書を完全な状態で、公正に、正確に、時機良く、そして分かりやすい開示を提供することに努めており、さらにElasticは上記の開示を監視するための特別な手続きを導入しています。

企業行動の価値観

Elasticは、Elasticの顧客とビジネスパートナーからElasticの事業を倫理的に、透明性をもって、そして責任をもって管理することを期待されているということを理解しています。下記に記載する企業行動の価値観は、Elasticと世界中にいるElasticの社員すべてに適用されます。

倫理・コンプライアンス

- 1. 倫理的な取引：**Elasticは常に誠実さと品位をもって運営しており、最高の倫理原則を順守しています。Elasticは利益相反の兆候や概念さえ回避します。Elasticはビジネス作法の施しには特に注意を払い、事業や政府の決定もしくは結果に影響を与えることを意図した贈答品、謝礼を贈ることは決して適切ではないということを忘れません。Elasticは、贈答品と歓待について規定しているElasticのポリシーにある文言と精神の両方に従います。
- 2. 法律と規則の遵守：**Elasticは、Elasticが事業を行う全地域において適用される法律と規則のすべてを遵守します。
- 3. 贈収賄と汚職：**Elasticは、贈収賄、汚職、および禁止されているビジネス慣行に関して適用される法律と規則のすべてに精通し、厳格に遵守するものとします。Elasticは、意思決定に影響を与える目的で他人に対し、直接・間接を問わず、なんらかの支払い、贈答品、現金または金目の物を施すことを不正に提供したり、約束したり、行ったり、同意したりしないものとします。Elasticの事業取引は、Elasticの会計帳簿に正確に反映させるため、贈収賄、汚職、キックバック、および横領を回避するために考案された手順を遂行するものとします。

人権・雇用・労働

- 1. 人権：**Elasticは、国連世界人権宣言に副う方法でElasticの労働者すべてに対応します。Elasticは、国際的に宣言されている人権を支持し、その保護を尊重しています。また、Elasticの組織内またはサプライチェーン内におけるあらゆる人権侵害を容認することとはしません。
- 2. 責任のある鉱物の調達：**Elasticは、紛争の影響を受けた地域およびリスクの高い地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンに対するOECDのデュー・ディリジェンスガイダンスおよびElasticに適用されるすべての関連法規を遵守するものとします。

3. **結社の自由の保護**: Elasticは、従業員が労働者の組織（労働組合を含む）に参加するまたはそれを控えることについて、彼らの法的権利を尊重し、それぞれの場合について話し合いの場を持ちます。
4. **労働法の遵守**: Elasticは、現代の奴隷制を阻むことを意図したすべての適用法を含む労働法を遵守し、いかなる形態の強制労働または不本意な労働（たとえば、奴隷労働、強制労働、契約労働、または不本意な囚人労働など）をさせないものとします。Elasticとその従業員との間で調整されるすべての業務は自由意志によるものであるため、Elasticの従業員は自らの雇用期間をいつでも終了させることができます。Elasticは、今後の従業員が人身売買の被害者になりそうだという危険信号を感じた場合には誰も雇用しません。Elasticは児童労働は採用しません。「児童」とは、Elasticが事業を行うどこの管轄区域においても最低雇用年齢に達しないすべての者を意味します。しかしながら、Elasticは合法的な職場実習プログラムの利用を支援しています。これは、Elasticが事業を行うすべての地域においてこの実習プログラムに適用される法律と規制のすべてを遵守しているものです。
5. **賃金と手当**: Elasticは、労働時間と報酬に関して適用されるすべての法律と規制を遵守し、法的に義務付けられた手当を提供します。Elasticは、地域の現行労働時間を超えて稼働させることはせず、適用法に従って超過勤務への補償を適切に行います。Elasticは従業員に対し、適用法によって許容される時間を超える労働を強いることはしません。
6. **無差別**: Elasticは、雇用や雇用の慣行に対し、人種、宗教、国籍もしくは民族起源、肌の色、性別（性別の認識やアイデンティティー、性的指向、妊娠を含む）、年齢、配偶者の有無、退役軍人の身分、遺伝情報、障害、あるいはあらゆる適用法または規則によって保護されているその他の基準を根拠として差別をすることはありません。
7. **敬意と品位**: Elasticはすべての従業員に対し敬意をもって対応し、体罰、暴力での脅し、強制もしくはハラスメントといった手段については一切、利用したり容認したりはしません。
8. **安全衛生**: Elasticは、Elasticの一事務所で働く従業員に対し、職場の衛生基準と緊急時への備えに関する基準を満たした清潔な施設を備えた、安全で健康的な職場環境を提供します。Elasticは、生命の安全性、事故調査、化学的安全性、および人間工学を網羅するプログラムを効率的に実行します。

環境

1. **環境法および規則の遵守**：最低限のこととして、Elasticは、化学物質や廃棄物の管理・処分、リサイクル、産業排水処理・排出、ならびに大気汚染防止に関する要件など、適用されるすべての環境法令、規則および基準を遵守します。Elasticは、必要とされるすべての環境上の許可、承認、および登録を取得し、かつ最新の状態で保持し、それらの報告義務に従います。
2. **環境保護**：Elasticは環境を保護する方法で事業を運営し、その中で環境やコミュニティに潜在的な悪影響を及ぼす可能性については、意思決定をする過程で考慮します。

権利の放棄と修正条項

Elasticの取締役員または執行役員（Elasticの最高経営責任者、最高財務責任者ならびに他の執行財務担当者や上級財務担当者を含む）に対して本規範条項の権利放棄を行う場合は、取締役会またはその指定委員会の書面による承認が為され、法律と規則により要求される範囲で、かかる権利放棄の理由を添えて直ちに開示しなければなりません。その他の個人に関して本規範条項の権利放棄を行う場合は、社内弁護士による書面の承認が必要ですが、その社内弁護士が不在の場合は、最高財務責任者が、倫理・コンプライアンス最高責任者と協議を行います。取締役員または執行役員に対する本規範の権利放棄は、Elasticのウェブサイト上で開示されます。

Elasticは、変わりゆく法律とビジネス環境を反映するために、本規範を定期的に見直し、更新するよう努めています。全ての修正事項は取締役会またはその指定委員会により書面にて承認されてからElasticのウェブサイト上に開示しなければならないか、あるいはその他法律や規則により要求され、開示されることがあります。

倫理・コンプライアンスにおける懸念事項の報告

違反である可能性に気付いた場合、または問い合わせ、アイデアの提案、あるいはElasticにおける倫理もしくはコンプライアンスに関する懸念事項を提起したいと思ったときは、直ちに次の手順を踏まなければなりません：

- その状況について直属の上司と話し合いをしてください。
- 直属の上司がその状況に関わっている場合や、直属の上司とその状況を話し合うことが躊躇される場合は、ethics@elastic.coに電子メールを送信するか、または倫理・コンプライアンス最高責任者、人事部上級副社長、社内弁護士、あるいは最高財務責任者に連絡してください。これらの個人の連絡先情報はすべて、倫理・コンプライアンス専用のElasticのWikiページに記載されています。
- 実際の不正行為やその疑いのあるもの、もしくは通常とは異なる状況がElasticの執行取締役に関わるものである場合は、Elasticの先導する独立取締役宛て（Elasticの登記簿上の事務所：Keizersgracht 281, 1016 ED Amsterdam, the Netherlands）に直接、かかる懸念事項を報告してください。
- 対象者（従業員、臨時雇用者、ベンダー、その他の方々）は誰でも、電話やウェブ上の報告ツール（<https://www.elastic.co/jp/about/trust>から入手できます）を使って倫理コンプライアンスホットラインを介して倫理的懸念事項、法律に関する懸念事項、規則に関する懸念事項についての報告をすることができます。報告する際には、実名か匿名を選ぶことができます。Elasticは報告を受け取ったことを確認し、提起された問題を包括的に検討し、解決するために、適切な専門家に転送します。たとえば、苦情の内容によっては、人事部や倫理・コンプライアンス最高責任者、または他の熟練の専門家が対応することがあります。倫理・コンプライアンスのホットラインを介して受信されたElasticの会計、内部統制もしくは監査に関する懸念事項は、監査委員会の委員長および社内弁護士（または必要に応じて指名する者）に向けて照会されます。
- さらに、会計、内部統制、監査に関する苦情がある場合は、監査委員会の議長にメール（ethics@elastic.co）で、または書面（住所：Elastic N.V., 800 West El Camino Real, Suite 350, Mountain View, California 94040、宛先：Chairperson of Audit Committee）で連絡可能です。Elasticは上記のコミュニケーションのすべてをElasticの監査委員会の委員長に転送します。

また、誠実に苦情を報告した人や関連する調査に協力したすべての人を、報復、脅迫、差別、ハラスメント、復讐、あるいは仕返しから保護するという、Elasticの揺るぎない責任があることを忘れないでください。

最後になりますが、社員には法執行機関や規制当局にいつでも連絡する権利があります。また、本規範のいかなる条項も、Elasticの社員が誠実な報告を行うことまたは適切な機関に対して苦情を申し立てることを制限するものではありません。